基本目標２　がんの早期発見に向けた取組を推進する

（１）科学的根拠に基づくがん検診の実施

国は、「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」において、胃がん、肺がん、大腸がん、子宮がん、乳がんの５つのがん検診を推奨しています。がん検診のメリットは、標的とするがんによる死亡を防ぐことです。そのほか、早期発見により治療が軽度ですむこと、本当にがんがない人が検診で「異常なし」と診断されることで安心して生活できることもメリットです。一方、デメリットとしては、がんが 100％見つかるわけではないことや、偽陰性、偽陽性、過剰診断、偶発症など、負担の大きい、または不要な検査や治療を招くこともあり、がん検診を受診した人は誰でも、これらのデメリットを受ける可能性があります。がん検診のメリットとデメリットについて区民への理解を促進するとともに、指針にない検診の見直しを行います。

①国の指針を踏まえた検診の見直し、有効ながん検診の実施

■目標

〇がん検診の意義について区民に周知していきます。
〇国の指針に基づくがん検診を実施していきます。

■今後の取組

〇がん検診への区民の理解

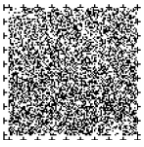
科学的根拠に基づいたがん検診について、検診のメリット・デメリットなど正しい知識をがん検診のチラシやホームページ等で区民に伝えます。

〇国の指針に基づく５つのがん検診の実施および指針にない検診の見直し

今後も、科学的根拠に基づくがん検診を実施するように努めます。現在行っている、指針にない検診については、医師会等と検診の有効性を十分に検証・協議し、見直しを行っていきます。

■目標値

No	指標	現状値	目標値
1	国の指針にないがん検査・検診の廃止	5	0



（２）がん検診の質の向上に関する取組の推進

科学的根拠に基づくがん検診であっても、その精度管理（検診が正しく行われているかを評価し、不備な点を改善すること）が行われなければ、効果が十分に発揮されません。事業評価のためのチェックリストの実施や精度管理体制の確立など、精度管理に必要な事項の整理や評価体制の充実を図り、がん検診の質の向上に取り組みます。

①事業評価のためのチェックリストの実施

■目標

〇事業評価のためのチェックリストを実施する体制を強化していきます。
〇必要最低限の精度管理項目を医師会等への委託仕様書へ適正に記載していきます。

■今後の取組

〇チェックリストの活用推進

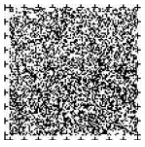
「事業評価のためのチェックリスト（市区町村用）」を活用し、実施項目が増加するよう検診制度を整備していきます。また、検診実施機関でのチェックリストの実施について医師会等と協議を進めていきます。

〇仕様書への記載事項の見直し、整理

「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」の委託仕様書への反映について、医師会と協議を進め適正な記載に努めていきます。

■目標値

No	指標	現状値	目標値
1	胃がん（エックス線）検診のチェックリスト実施項目	92.3%	増加
	胃がん（内視鏡）検診のチェックリスト実施項目	92.3%	増加
2	肺がん検診のチェックリスト実施項目	88.2%	増加
3	大腸がん検診のチェックリスト実施項目	82.7%	増加
4	子宮がん検診のチェックリスト実施項目	90.9%	増加
5	乳がん検診のチェックリスト実施項目	90.4%	増加



②精度管理体制の確立

■目標

〇精度管理のための技術的指針における精度管理体制を確立します。
〇各検診実施機関において、均質な検診を提供できるようにします。

■今後の取組

〇区が主催する精度管理委員会等の実施と運営方法の見直し

全がん検診について、各検診実施機関においての検診結果、要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度等のプロセス指標値を把握し、精度管理状況の評価を行い、より質の高い検診を目指し改善を図っていきます。

また、精度管理委員会等の実施方法については、技術的指針において求められる各がんの精度管理の実施内容を鑑みつつ、総合的な精度管理の形式を検討していきます。

③プロセス指標の活用

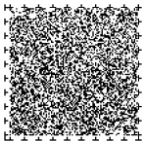
■目標

〇プロセス指標の基準値を達成できるように努めます。

■今後の取組

〇プロセス指標の検証と検診実施機関への働きかけ

検診実施機関ごとにプロセス指標を算出し、検診の各工程が適切に行われたかどうかを検証していく必要があります。値を満たしていない機関には、原因究明と改善の働きかけを行います。



■プロセス指標

基準値（上限 69 歳）

	胃がん		大腸がん	肺がん（１年間隔）		乳がん（２年間隔）		子宮頸がん		
	２年間隔	１年間隔			検診以外の受診を考慮		連続受診を考慮			
対象年齢	50-69 歳		40-69 歳	40-69 歳		40-69 歳		20-69 歳	20-39 歳	40-69 歳
精検受診率	90%以上									
要精検率	7.1%以下	7.0%以下	6.2%以下	2.0%以下	2.0%以下	6.8%以下	6.8%以下	2.7%以下	4.2%以下	2.0%以下
がん発見率	0.13%以上	0.08%以上	0.16%以上	0.06%以上	0.03%以上	0.38%以上	0.29%以上	0.16%以上	0.18%以上	0.15%以上
陽性反応適中度	1.9%以上	1.1%以上	2.6%以上	3.0%以上	1.6%以上	5.5%以上	4.3%以上	5.9%以上	4.4%以上	7.4%以上
非初回受診者の２年連続受診者割合	-					30%以下		40%以下		

基準値（上限 74 歳）

	胃がん		大腸がん	肺がん（１年間隔）		乳がん（２年間隔）		子宮頸がん		
	２年間隔	１年間隔			検診以外の受診を考慮		連続受診を考慮			
対象年齢	50-74 歳		40-74 歳	40-74 歳		40-74 歳		20-74 歳	20-39 歳	40-74 歳
精検受診率	90%以上									
要精検率	7.7%以下	7.6%以下	6.8%以下	2.4%以下	2.3%以下	6.5%以下	6.4%以下	2.5%以下	4.2%以下	1.9%以下
がん発見率	0.19%以上	0.11%以上	0.21%以上	0.10%以上	0.05%以上	0.40%以上	0.31%以上	0.15%以上	0.18%以上	0.14%以上
陽性反応適中度	2.5%以上	1.5%以上	3.0%以上	4.1%以上	2.2%以上	6.1%以上	4.8%以上	5.9%以上	4.4%以上	7.3%以上
非初回受診者の２年連続受診者割合	-					30%以下		40%以下		

（３）受診率向上の取組の推進

がん検診の目的は、がんを早期に発見し、適切な治療を行うことで、がんによる死亡率減少につなげることです。一次検診で要精密検査と判定された場合は、精密検査を受診することが重要です。区民のがん検診を受けなかった理由を見ると、「必要性を感じなかった」がもっとも多いことから、がん検診についての正しい知識や検診の重要性などの理解を深める取組が必要です。がん検診受診率の向上、精密検査受診率向上に向けて、案内や啓発方法を工夫するとともに未受診者への勧奨などに取り組みます。

①がん検診受診率（一次検診）の向上

■目標

○がん検診の受診率を高めます。

■今後の取組

○案内のツール、啓発方法の工夫

現在の、がん検診のチラシや検診実施機関一覧表について、分かりやすく、受診率向上に寄与する内容に工夫します。９月のがん征圧月間やピンクリボンキャンペーンでの橋のライトアップなどの機会を捉え、がん検診の普及・啓発に努めます。ホームページやＳＮＳ、ＣＡＴＶ等さまざまな媒体を活用した啓発方法を検討します。

○受診環境の整備

区民のニーズに即した受診しやすい環境について、医師会等と協議・検討し体制を整えていきます。

○未受診者への勧奨

受診勧奨・再勧奨について検討し、効果的な施策を実施していきます。かかりつけ医師・歯科医師・薬剤師等との連携を検討していきます。

■目標値

No	指標	現状値 注1)		目標値 注2)	
		上限なし	上限 69 歳	上限なし	上限 69 歳
1	胃がん検診受診率	11.1%	10.9%	14.1%	13.9%
2	肺がん(一般)検診受診率	9.1%	5.4%	12.1%	8.4%
3	大腸がん検診受診率	20.0%	9.8%	23.0%	12.8%
4	子宮がん検診受診率	32.2%	37.1%	35.2%	40.1%
5	乳がん検診受診率	30.4%	36.8%	33.4%	39.8%

注 1）東京都における精度管理評価事業による算出方法で受診率を算出
注 2）国の目標値 60%を目指しつつ、当面は区の現状に沿った目標値（+3.0 ポイント）を設定

②精密検査受診率の向上

■目標

〇がん検診の精密検査の受診率を高めます。

■今後の取組

〇案内や啓発方法の工夫

精密検査が怖い・面倒等の理由で受診しない要精密検査の対象者へ、受診の重要性を案内するチラシ等を作成します。さらに、精密検査への不安感を解消できるように、がんについて相談できる場所を周知していきます。

〇未受診者への勧奨

受診勧奨について検討し、効果的な施策を実施していきます。医師会と連携し、受診勧奨を行います。

■目標値

No	指標	現状値注1)		目標値	
		上限なし	上限69歳	上限なし	上限69歳
1	胃がん検診（胃部エックス線）精密検査受診率	86.5%	88.9%	増加	増加
2	胃がん検診（胃内視鏡検査）精密検査受診率	97.4%	98.0%	増加	増加
3	肺がん検診精密検査受診率	87.6%	86.4%	増加	増加
4	大腸がん検診精密検査受診率	59.9%	63.4%	増加	増加
5	子宮がん検診精密検査受診率	79.6%	79.7%	増加	増加
6	乳がん検診精密検査受診率	90.6%	90.9%	増加	増加

注1）東京都におけるがん検診精度管理評価事業調査（令和4年度実績）より

コラム

区のがん検診について

区では、職場などで検診機会のない区民の方を対象に、各種がん検診を実施しています。定期的に受診して健康チェックをしましょう。

	対象	費用	自費で受けた場合
胃がん検診 （内視鏡検査）	50 歳以上（年度末年齢）の偶数年齢	2,000 円	5,000～30,000 円
子宮がん検診	20 歳以上の偶数年齢の区民（女性）	無料	3,000～15,000 円
乳がん検診 （マンモグラフィ）	40 歳以上の区民	500 円	3,000～15,000 円
肺がん検診 （胸部エックス線検査）	40 歳以上の区民	無料	3,000～10,000 円
大腸がん検診	40 歳以上の区民	無料	2,000 円前後

（令和６年 11 月現在）

※自費で受けた場合の費用は目安です。

出典：品川区がん情報ホームページ